

# 中田かわら版 1月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田連合地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

## ■ この人に会いたい < 16 >

### レジェンド岡田忠雄さん（94歳） 富士見丘



昭和32年（1957）、後藤不動産の宅地開発が始まる。松林や雑木林を切り開いて区画され売り出されていた。33年には、ぼつぼつと人が住むようにはなったが電気、水道もなくトランジスタラジオが唯一の楽しみ。奥さんが両手にバケツ、旦那さんは天秤棒で井戸水を農家にもらいに行く。日が暮ればローソク、ランプの燈光頼りでは早寝しかない。雨が降れば泥んこ道で、長靴のお世話。天気になれば砂塵が舞い大変な時代だった。当時の思い出を記念誌「うんまの背2」に加納清三さんが書いている。

昭和36年、2代目会長に吉田信雄氏が就任、同51年まで17年間、地域の発展に努力された。この吉田氏を支えてきた一人が34年、中田に転居した岡田忠雄氏だ。やるべきことは山積していた。電気、水道、道路、ごみの処理問題、便所の汲み取り、小児麻痺対策など日常生活に欠かせない緊急を要するものばかりだった。「一寸の休む暇もないくらい走りまわっていた」とは岡田さんの述懐である。その間に48年、自治会内でマムシ養殖場建設問題発生。昭和50年、自治会創立15周年史「うんまの背1」発行（編集長・岡田忠雄）。51年、富士見丘自治会館建設委員会発足（委員長・岡田忠雄）など。

岡田さんが3代目会長になったのは52年。以後7年間務めるが在任中の主な出来事

- ・昭和52年 第二富士見会発足。富士見自治会館完成
- ・昭和53年 陳情：投票所移転反対。県道伊勢原線（長後街道）交通緩和のためのアンケート実施。
- ・昭和54年 給水圧力が低い水道管更新敷設工事やっと完成。防災対策計画案検討
- ・昭和55年 陳情：戸塚区長に東中田小学校通学路舗装について。
- ・昭和56年 陳情：戸塚電報電話局へ防犯灯設置許可要請の件、市水道局へ水道管口径変更要請、市道路局へ道路及び側溝改良の件。連続放火事件（その後犯人逮捕）
- ・昭和57年 陳情：市道路局に道路整備について。西田土地区画整理事業富士見丘対策協議会発足。

昭和58年 陳情：市道路局へ道路及び側溝改良について。同排水溝改良について。

排水路問題で、荒川氏が自治会相手に訴状、「荒川訴訟」に発展。特別対策委員会を設置。

中田地区において、昭和31年に中田踊場、東原両自治会設立を皮切りに40年代にかけ富士見丘、朝日台、若草、戸塚苑など多くの自治会が誕生した。しかし、富士見丘ほど組織化され、住民の生活向上のために町民が一丸となって戦ってきた例は見たことはない。「一人一人がボヤいていたら解決しない。町内会を作って運動しよう。住民自治に関心を持たなかった人たちも町内の組織が生活を支えてくれることを体験した。住民の声は政治とのつながりの中で一つ一つ解決されていった」（「うんまの背2」より）。現役当時、労組の執行委員20年は伊達ではなかった。行政への陳情、交渉などどれほど地域に貢献してきたかしのれない。「うんまの背1、2」の記念誌は富士見丘の宝。岡田氏にはレジェンド「生きる伝説」としてこれからも頑張って欲しい。最後に愛妻家だった一面を紹介したい。「老境ふたりの夫婦に きつい峠道 仰げば燃ゆる 南アルプスやしやじんとうげ（夜叉神峠にて）

（木下良江、市川栄二）

～一人ひとりがCO<sub>2</sub>を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～

# 2月のイベント

このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケアプラザ 葛西（かさい）まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923

## 【立場地区センターまつり】

2月14日(土)

- ・ 10:00～16:30 地区センター利用団体の実技発表や作品展示など

2月15日(日)

- ・ 10:00～12:20 中和田中学校吹奏楽部、中田囃子、東中田小学校マーチングバンド、童謡コンサート（青山愛さん）
- ・ 10:00～14:00 作品展示
- ・ 10:00～14:00 バザー 他、赤飯販売

## 【囲碁将棋大会】

日時：2月1日(日)

受付：8:30 (9:20 開会式)

場所：中田町会館 2階

- ・ 今年の名人は誰の手に！恒例の囲碁将棋大会を開催します。

参加費：¥500- (昼食代)

参加者：小・中学生・一般（高校生以上）

申込：各町内会・自治会文化部長まで

## 有終の美飾った第7回「女男展」

第7回「女男展」が11月15日から5日間、ギャラリー「一翠堂」（鎌倉・小町）で開かれた。夏刈場在住の樋口幸雄、勝美夫妻が平成12年から隔年ごとに開催されてきた。幸雄氏の陶芸と勝美さんの手編みのセーターやカーディガン、ベストなど15点、併せて100点ほどが展示された。

しかし、この14年間続いた「女男展」も今回が最後となった。昨年2月、幸雄氏が亡くなられたからだ。一時はやめようか、と思ったときもあった。コンビニで励まし合いやってきたことに意味があったからだ。その後、多くの友人や顧客らの励まし、さらに「一翠堂」のオーナーなどからのすすめもあり、7回の区切りのいい数を最後に、集大成の意味も込めて開催にこぎつけた。この日のため幸雄氏が作り上げた皿や茶器もわずかだが残されていた。思い出の作品と幸雄氏の写真もそっと飾った。初日の15日は、ギャラリーが大勢の友人たちであふれるほどだった。 (宮田)

## 池谷自治会 創立50周年記念式典を祝う

11月23日、中田小学校体育館にて300名の出席者を迎え、式典が行われた。樋口実行委員長（自治会会長、50世帯）は、半世紀を振り返り諸先輩に敬意と感謝を表し、次世代にこれからも「明るい街」づくりを託すとの挨拶があり、スライドによる自治会紹介は50年の重みを感じられた。

中田小学校マーチングバンド60名の演奏が披露され絶賛された。日頃の厳しい練習を続ける子ども達をたたえ、現在は大きな励ましと温かい支援の輪が広がり、この地の文化として育っている。又、広い校庭の管理を提案し「学校地内環境美化活動及防犯活動委員会」通称「レッドキャプス」を22名で構成し、学校菜園や米作りの支援をし、食育の一環として役立っている。子ども達は努力し達成する喜びを知り、学校全体が今や自信にあふれ、“地域と学校が一体となって子どもたちを育む”池谷自治会活動を継続し前進していきたいと思う。 (寄稿 池谷自治会前会長 上原敏博氏)



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べることができます。[www.odoriba-cp.jp](http://www.odoriba-cp.jp)へアクセス！！